



学校だより

あげひばい

平成23年6月10日
No. 5
茨城町立川根小学校
編集 岩間幸一

読書は 心の食事

お話しキャラバン隊とPTA図書委員会の皆さんによる「読み聞かせ」



お話しキャラバン隊の皆さん



図書委員会の皆さん



さすが5年生。

目で読んで、耳で聞いて ……心のアンテナが光る！

1年生

どの児童も真剣に聞いていました。この時期は自己肯定感や安心感をはぐくむ時期です。保護者の声は、お腹の中でずっと聞いていた、とてもなじみのある声です。寄り添ったりスキンシップをする中で、自己肯定感や信頼感が育っていきます。

5年生

5年生になると、長いストーリーや抽象的な思考を必要とする本を読むことが可能になります。ただし、個人差はあります。登場人物の喜怒哀楽といった心の変化を感じたり、思考の深さを感じたりすることで、脳が活発に働きます。

「読み聞かせ」は学力の基礎～フィンランド

3月頃、NHKの番組で、プラネットベビーズ「フィンランド ムーミンと育てる考える力」が放映されました。内容が面白かったので紹介します。フィンランドの読み聞かせでは、「ミクシ（なぜ?）」と問いかけるのは、コミュニケーションすることを大切にしているからだと言っていました。「考える」ことの基礎は「ことば」であり、「学ぶ」ことの基礎は「考える」ことです。「本」が考える力を育てています。フィンランドがPISAなどで世界一の教育と言われる基盤は、この「読書」が支えているようにも思います。

□ 「PTA奉仕活動 有り難うございました。」

下土師、木部地区の皆さんには、大変お世話になりました。校庭の環境が一変し、きれいになった校庭で子どもたちが元気に遊んでいます。

□ 「学校図書館がリニューアル中……これからもよろしくお願いします！」

PTA図書委員会の皆さんにより、児童がびっくりするくらい可愛らしく、素敵な部屋に変身しています。図書館に多くの児童が出向くことを期待しています。